

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会  
会長 中釜 齊 殿

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会  
緩和ケア部会  
部会長 若尾 文彦

がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針および次期がん対策基本計画に向けた  
緩和ケアの提供体制に関する提案書

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 緩和ケア部会では、がん診療連携拠点病院の緩和ケアに関する取り組みを支援する立場から、がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針および次期がん対策基本計画に向けた緩和ケア提供体制の充実について検討し、提案をまとめました。

当部会の意見を今後のがん対策に反映できるようお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

## 1. 緩和ケアの地域連携の強化

- 提案1. 拠点病院は、患者が地域の医療機関や在宅での療養中に身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等が生じた場合、地域の医療介護福祉従事者の依頼に応じて緩和ケアの支援を行う
- 提案2. 拠点病院が、地域の患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等について支援を行う際には、主治医と緩和ケアチームが協働して対処する
- 提案3. 拠点病院は、都道府県をはじめ、地域の医療介護福祉施設と連携協力のもと、地域の看取りの状況や緩和ケアに関する医療介護福祉サービスリソースを把握し、地域の特性に適した方法で関係する医療介護福祉従事者や患者・家族・地域の住民へ情報を提供する

### 提案理由：

わが国の多死社会を考慮し、病状等により変化する患者・家族の意向・希望に合わせた終末期医療を提供するためには、地域単位の医療介護福祉の連携が重要な課題である。特に看取りについては、地域の後方連携病院が大きな役割を担っている現状を踏まえ、終末期

ケアの質の維持・向上のため、がん診療連携拠点病院（以下拠点病院）を含む地域の医療介護福祉サービスが一体となり、緩和ケアの地域連携を強化することが必要である。

## 2. 緩和ケアセンターや緩和ケアチームの体制強化

提案4. 拠点病院の緩和ケアセンターもしくは緩和ケアチームに、地域の医療介護福祉従事者や患者・家族との連絡調整、緩和ケアの提供体制の整備に係る書類等の作成などを担う専任の事務員を配置する（専従であることが望ましい）

提案理由：

拠点病院の緩和ケア提供体制のさらなる整備のためには、緩和ケアセンターや緩和ケアチームの事務処理機能の強化が必要である。

## 3. 行政関与の強化

提案5. 緩和ケアの地域連携を推進するため、都道府県は地域の緩和ケア普及推進を主導し、市区町村は地域包括ケアシステムにおいて緩和ケアが普及するよう拠点病院の関わりを推進する

提案理由：

整備指針の範疇を超えるが、緩和ケアの推進には、行政の係わりが不可欠と考え、第4期がん対策推進基本計画に以下を盛り込むことを要望する

以上